

神奈川県 ヘルスケア・ ニューフロンティア ワークショップ

文化としての病と老い

2017年2月9日（木）9:00-17:30
慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎2階中会議室
入場無料 ・ 予約不要

- 9:00 -10:00 鈴木 晃仁（慶應義塾大学教授）
◆医療人文学の進展と新しい医療文化
- 10:15-11:15 渡部 沙織（日本学術振興会特別研究員）
◆現代の難病医療と社会学的課題：
歴史分析からジェネティック・シティズンシップへ
- 11:30-12:30 Shi Lin Loh（慶應義塾大学准訪問研究員）
◆ヒーリング・フクシマ：医療人第一応答者（ファーストレスポnder）の
視点から「専門家」を再考する
- 12:30-13:45 お昼休憩
- 13:45-14:45 坂本 葵（作家）
◆医療小説としての谷崎潤一郎『鍵』『瘋癲老人日記』
- 15:00-16:00 小川 公代（上智大学准教授）
◆「苦痛」を語ること－英文学の具体的な事例から
- 16:15-17:15 和田 恵美子（京都学園大学准教授）
◆病気の体験を書くこと、語ること、それを読むこと
－医療者の立場から、病いを語る療養者の姿を通して
- 17:15-17:30 総括